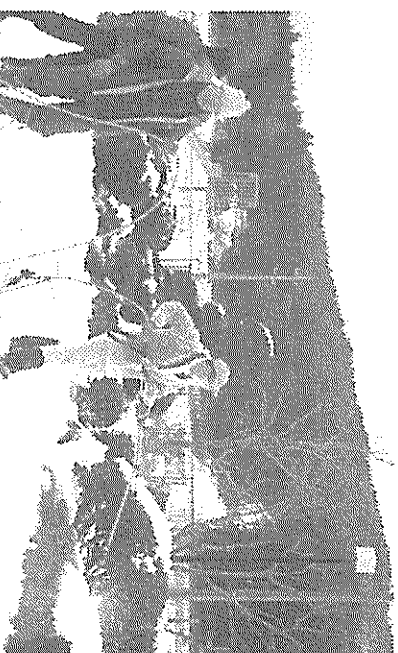


学校支援会報

■平成28年2月12日発行 第10号 ■編集 一関市学校支援室根地域本部事務局(一関市室根市民センター内TEL:0191-64-2347)

病気や害虫に負けないで!



病気や害虫を防ぐ薬剤を丁寧に散布する会員たち

室根東小学校、室根西小学校、室根中学校の3校の庭木病害虫防除作業が、今年も1月23日に行われました。

毎年、「むろね山野草の会」により行われているので、今年で6日目。当日は会員9人が参加して作業に当たりました。室根市民センターに集合すると、軽トラックに乗せたタンクに薬剤を調合し、動力噴霧器の準備をして出発。3校のほか気仙沼市折壁板設住宅(旧折壁小学校)の一本桜と、室根市民センターの庭木も合わせて作業をしていただきました。

キレイなお米になりました

室根東小学校の5年生が作ったパケツ稲を、菅原政輔さんが精米して届けられました。10月に脱穀体験をした後、稲作体験でお世話になっている菅原政輔さんが、精米するためにモミを持ち帰っていたものです。

天候に恵まれましたが、冷え込みの厳しい中、軽トラックを移動させながら、噴霧器で全ての庭木に薬剤を散布。ホースの届かないワエンスの外や狭い場所などは、携帯型の噴霧器で歩きながら1本1本丁寧に散布していただきました。

散布した薬剤は、殺虫、殺菌効果を持ち樹木にとって有害な虫の繁殖を防ぐ効果があります。木が休んでいる寒い時期に行うことで、木を痛めることなく、効き目もよいそうです。

緑が芽吹く春の訪れが待ち遠しいですね。寒い中、ありがとうございました。



市民センターで準備して出発。数の多い中学校の庭木にも全て散布しました

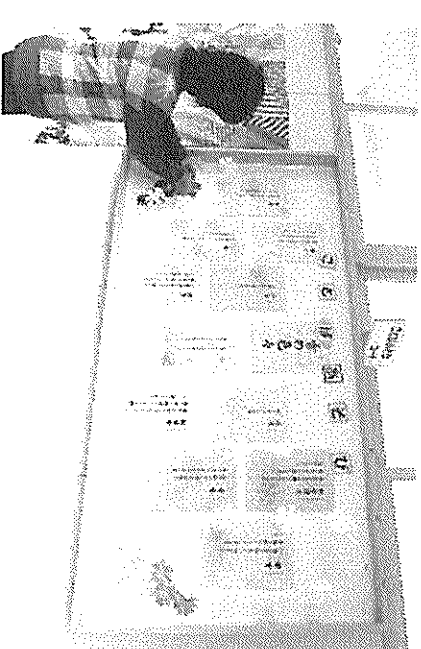
精米されたお米は約1.5kg。白くてツヤがあり、とても美しいものでした。代表して西城運太郎さんが感謝の言葉を述べた後、菅原さんからお米を受け取りました。その後、菅原さんは子どもたちが稲作やお米について学習してまとめたノートを手渡され、とても感激していました。お忙しい中、精米して子どもたちに届けていただき、ありがとうございました。

図書室前に彩り添えて♪

室根中学校3階の図書室前廊下の黒板と掲示板は、11月に修繕をした後、新しく掲示や装飾が施されています。

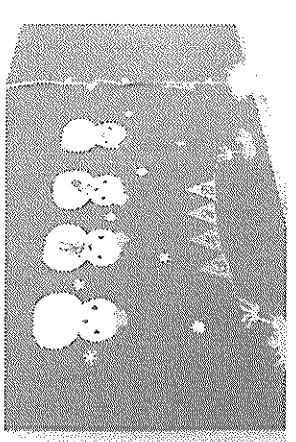
読書普及員の小山洋美さんと図書委員の子どもたちが一緒に装飾の計画を立てて展示。黒板は新刊本やおすすめの本の紹介のコーナーとして利用されるとともに、図書委員の子ども達が自由に工夫して装飾できるコーナーが新設されました。

掲示板は、季節のことばや詩などを紹介する『ことばのコーナー』として活用することになり、12月22日と24日に飾りつけ作業が行われました。保護者の方や興味のある方に気軽に手伝いをしたいとのこと、日程を期末面談期間中に設定。事前に案内チラシを配布してボランティアを募集したところ



冬にちなんだ装飾が施され、清々しく彩られた掲示板と黒板

菅原幸恵さんと菅原佳奈さん親子が、面談の待ち時間を利用して参加してくださいました。



作業は、青や紫の折り紙をハサミで切り、丸みを付けて約20枚の花飾りを製作。花びら部分の幅や丸みが一つ一つ異なり、個性豊かな表情を見せてくれています。製作した花は早速展示され、掲示板上に彩りが添えられました。

菅原さん親子には、限られた時間の中で様々な作業を手伝っていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

30メートルの巻きづくり挑戦!

室根市民センターの子ども土曜塾『のり巻きづくり』が1月30日に室根ふるさとセンターで行われました。

町内の小学生ら31人が参加。低学年は保護者も一緒に参加して30メートルの巻きづくりの挑戦しました。学校支援地域コーディネーター、放課後児童クラブの指導員の皆さんにご協力をいただき、前日から材料を準備。当日は一列に並んで160枚の海苔をつなぎ合わせて酢飯、5種類の材料を丁寧に並べ、息を合わせて一斉に巻き上げました。完成

したのり巻をみんなを持ち上げると、喜びの声が上がっていました。その後、落花生を賞品にゲームを楽しみ、みんなでのり巻きを食べました。美味しく楽しいお祭りとなりました。



のり巻のお土産もありました